

2022年度業務実績報告書

提出日 令和5年1月20日

1. 職名・氏名 准教授・柴田正輝

2. 学位 学位 博士(理学)、専門分野 古生物学、授与機関 東北大学、授与年 H.30

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 恐竜学(2)、古脊椎動物学実習(2)、実践恐竜学(2)、地球生命史学(2)、導入ゼミ(2)、福井を学ぶ
② 内容・ねらい 恐竜学：恐竜をより深く知ることの目的とし、映画に登場する種類を軸として生物としての恐竜の多様な面を理解すること。 古脊椎動物学実習：発掘現場での体験を通して、恐竜研究までの過程を知り体験する。 実践恐竜学：恐竜の基礎を学び、恐竜研究の基本を体験する。 地球生命史学：地球誕生以来の生命進化と環境変化の関係をj知ることjで、現在地球上で起jこっている生物の多様性の重要性を理解する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、興味を深め、自身での学習につなげるため、映画に登場する恐竜や、近年問題となっている生物多様性を絶滅という観点から紹介した。また、福井をより深く学ぶことができるように、恐竜博物館や発掘現場での実習も行っている。実習では、展示を見学するだけではなく、クリーニング作業やレプリカ製作など実際の研究の基礎となる作業を取り入れている。
(2)その他の教育活動
内容 ① 放送大学福井学習センター 学習会 全8回 ② 東京農業大学附属第一高等学校 講義 ③ 神戸女学院中等・高等部 講義

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0本】
② 学術論文（査読あり）	【0本】
③その他論文（査読なし）	【0本】
④ 学会発表等	
<p>1.“赤崎層群”呼子ノ瀬層は白亜系マーストリヒト階最上部、日本古生物学会第171回例会（2022年2月 オンライン、名古屋大学）、宮田和周、長田充弘、柴田正輝、大藤茂、口頭</p> <p>2. 姫浦層群下津深江層(熊本県天草市)から産出したマーストリヒチアンのハドロサウルス上科の歯化石、日本古生物学会第171回例会（2022年2月 オンライン、名古屋大学）、黒須弘美、柴田正輝、宮田和周、廣瀬浩司、鶴飼 宏明、口頭</p> <p>*3. 上部白亜系三ツ瀬層(長崎県長崎市)から産出したハドロサウルス上科の肩甲骨について、日本古生物学会第171回例会（2022年2月 オンライン、名古屋大学）、柴田正輝、宮田和周、中谷大輔、小平将大、口頭</p> <p>4. <i>Fukuivenator paradoxus</i> の系統的位置の再検討、日本古生物学会第171回例会（2022年2月 オンライン、名古屋大学）、服部創紀、河部壮一郎、今井拓哉、柴田正輝、宮田和周、徐星、東 洋一、口頭</p> <p>5. 現生カメ類の中耳・内耳形態と生息環境の関連性、日本古生物学会第171回例会（2022年2月 オンライン、名古屋大学）、坂上莉奈、藺田哲平、服部創紀、河部壮一郎、柴田正輝、平山 廉、ポスター</p> <p>6. 徳島県勝浦町に 分布する下部白亜系立川層の恐竜化石発掘調査、辻野泰之・小布施彰太・中尾賢一・柴田正輝・河部壮一郎・東 洋一・関谷 透・藺田哲平・築地祐太・中山健太郎・小笠原憲四郎、日本古生物学会 2022 年年会（オンライン、金沢大学） 口頭</p> <p>*7. 下部白亜系立川層(徳島県勝浦町)から発見されたイグアノドン類の尾椎、柴田正輝・辻野泰之・小布施彰太・中尾賢一・関谷 透・築地祐太・中山健太郎、日本古生物学会 2022 年年会（オンライン、金沢大学）口頭</p> <p>8. 下部白亜系北谷層(福井県勝山市)から新たに発見されたゴニオフォリス科の上顎骨、関谷透・小布施彰太・柴田正輝、日本古生物学会 2022 年年会（オンライン、金沢大学）ポスター</p> <p>9. 耳形態から化石カメ類の生息 環境を推定するための指標、坂上莉奈・藺田哲平・服部創紀・河部壮一郎・柴田正輝・平山 廉、日本古生物学会 2022 年年会（オンライン、金沢大学）口頭</p> <p>*10. History of Dinosaur Discoveries in Japan, Shibata, M. 2022. IPC6 Thailand, From Gondwana to Laurasia, Khon Kaen, Thailand, 口頭</p> <p>11. New pterosaurian material from the Khok Kruat Formation, Nakhon Ratchasima, Thailan, Nakamura, T., M. Shibata, W. Naksri, D. Chokchaloemwong, H. Yukawa, K. Nakada, Y. Noda, P. Jintasakul, IPC6 Thailand, From Gondwana to Laurasia, Khon Kaen, Thailand, ポスター</p>	
	【11件】
⑤ その他の公表実績	
	【0本】

(2) 科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

研究分担者 基盤研究 (B)、極限温暖化時に生じた森林大崩壊の解明 (代表研究者 西弘嗣)
研究分担者 基礎研究 (C)、恐竜における脳と頭骨の形態的共変化の解明 (代表研究者 河部壮一郎)

(3) 特許等取得

(4) 学会活動等

- ・ 放送大学福井学習センター主催 シンポジウム「恐竜 DX」の開催 (9月)
- ・ 福井県第4次恐竜化石調査: 勝山市北谷町 (7月末~8月) 大雨のため8月中止
- ・ ゴビ砂漠恐竜化石調査: 内モンゴル (9月) Covid-19により中止
- ・ タイ共同恐竜化石調査: ナコーン・ラチャシーマ他 (11~12月)
- ・ 岡山県恐竜化石調査 (3月)

5. 地域・社会貢献活動

⑥ 福井県立恐竜博物館 博物館セミナー実施
⑦ 放送大学福井学習センター 客員教員
⑧ 勝山市PTA 連合会講演
⑨ 南条 SA 上り設置恐竜モニュメント監修
⑩ 読売新聞「あちこち聖地」取材対応
⑪ 県立大学公開講座「恐竜のおしごと！」全4回（うち1回担当）
⑫ よみうり文化センター公開講座 全6回（うち2回担当）
⑬ 中日文化センター公開講座 全4回（うち1回担当）

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
輸出管理委員会 大学案内 2024 ワーキンググループ
(3)学内行事への参加
オープンキャンパスにて恐竜学研究所ブースの設置
(4)その他、自発的活動など